

東京都「緑の広域計画（仮称）」 中間のまとめ（案）

令和8（2026）年●月

東京都 都市整備局

「緑の広域計画（仮称）」策定にむけた中間のまとめについて

- 都はこれまでみどりの保全や創出をすることで、みどりのネットワークを広げる取組を着実に進めてきました。
- 一方で、都市化や気候危機の進行、人口構造の変化、国際競争の激化など、東京を取り巻く社会状況は大きな転換点を迎えています。
- こうした地球環境の変化や社会情勢等を踏まえ、「社会的な課題解決への緑の活用」や、生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブの実現」など、みどりの多面的機能をさらに強化するため、東京のみどりの取組を新たなステージへと導いていくことが重要と考えます。
- そこで、東京が世界で最も魅力的で持続可能な都市であり続けるために、みどりの取組の方向性を示す「緑の広域計画（仮称）」を策定することとしました。
- 今般、策定にあたっての東京のみどりの置かれている状況やあるべき姿について、有識者との意見交換等を経て、『「緑の広域計画（仮称）」策定に向けた中間のまとめ』として、取りまとめました。
- 今後、本中間のまとめについて都民の皆様の御意見・御提案を頂き、目標に関わる内容をブラッシュアップしていきます。具体策についても検討し、再度、皆様から御意見を頂いたうえで、「緑の広域計画（仮称）」を取りまとめていきます。

「緑の広域計画（仮称）」 中間のまとめ

東京のみどりが置かれた状況と目指すもの

今回、特に御意見・御提案を頂きたい事項

- ・東京のみどりが目指す姿
- ・エリア別将来像
- ・みどりの種別将来像

「緑の広域計画（仮称）」

中間のまとめのブラッシュアップ+具体施策

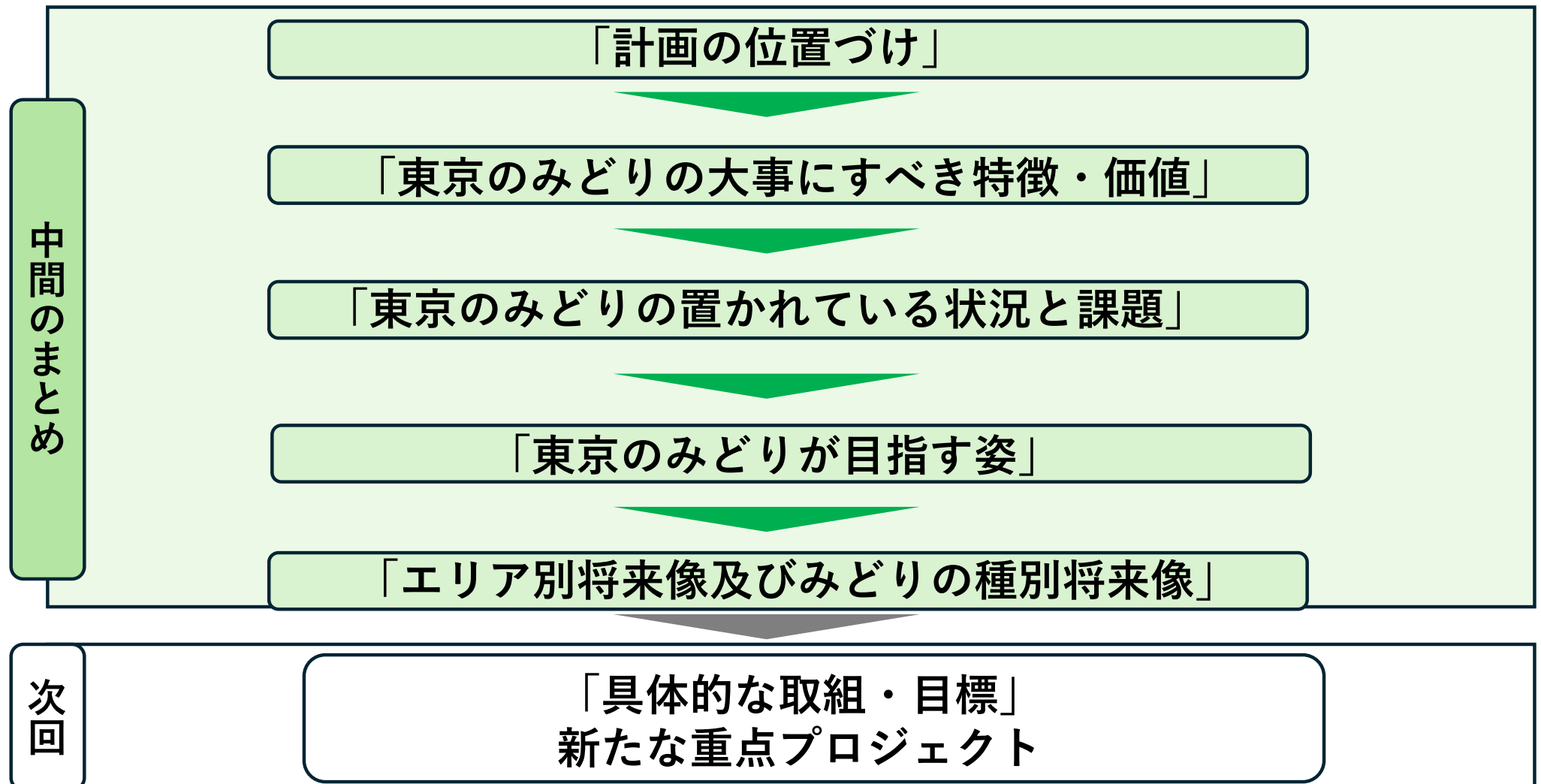
記載内容（予定）

- ・中間のまとめの内容
- ・具体的な取組・目標
- ・新たな重点プロジェクト

■中間のまとめ 全体構成

東京都「緑の広域計画（仮称）」中間のまとめでは、東京のみどりの大事にすべき特徴・価値を再整理した上で、みどり行政を取り巻く状況と変化、東京都のこれまでの取組を整理し、東京のみどりが目指す姿を示し、東京の目指す姿を実現するためのエリアごとの将来像やみどりの種別ごとの将来像を示しました。

なお、今後、目標実現に向けた具体的取組の検討を進め、改めて御意見・御提案を頂く予定です。



■目次

中間のまとめ

はじめに 計画の位置づけ

- 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

序章 東京のみどりの大事にすべき特徴・価値

- 東京のみどりの大事にすべき特徴・価値・・・・・・・・・・ 9

第1章 東京のみどりの置かれている状況と課題

- 東京のこれまでの取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- みどりに関わる動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 東京のみどりが抱える課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第2章 東京のみどりが目指す姿

- 東京のみどりが目指す姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

第3章 エリア別将来像及びみどりの種別将来像

- エリア別将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- みどりの種別将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

第4章

- 具体的取組

第5章

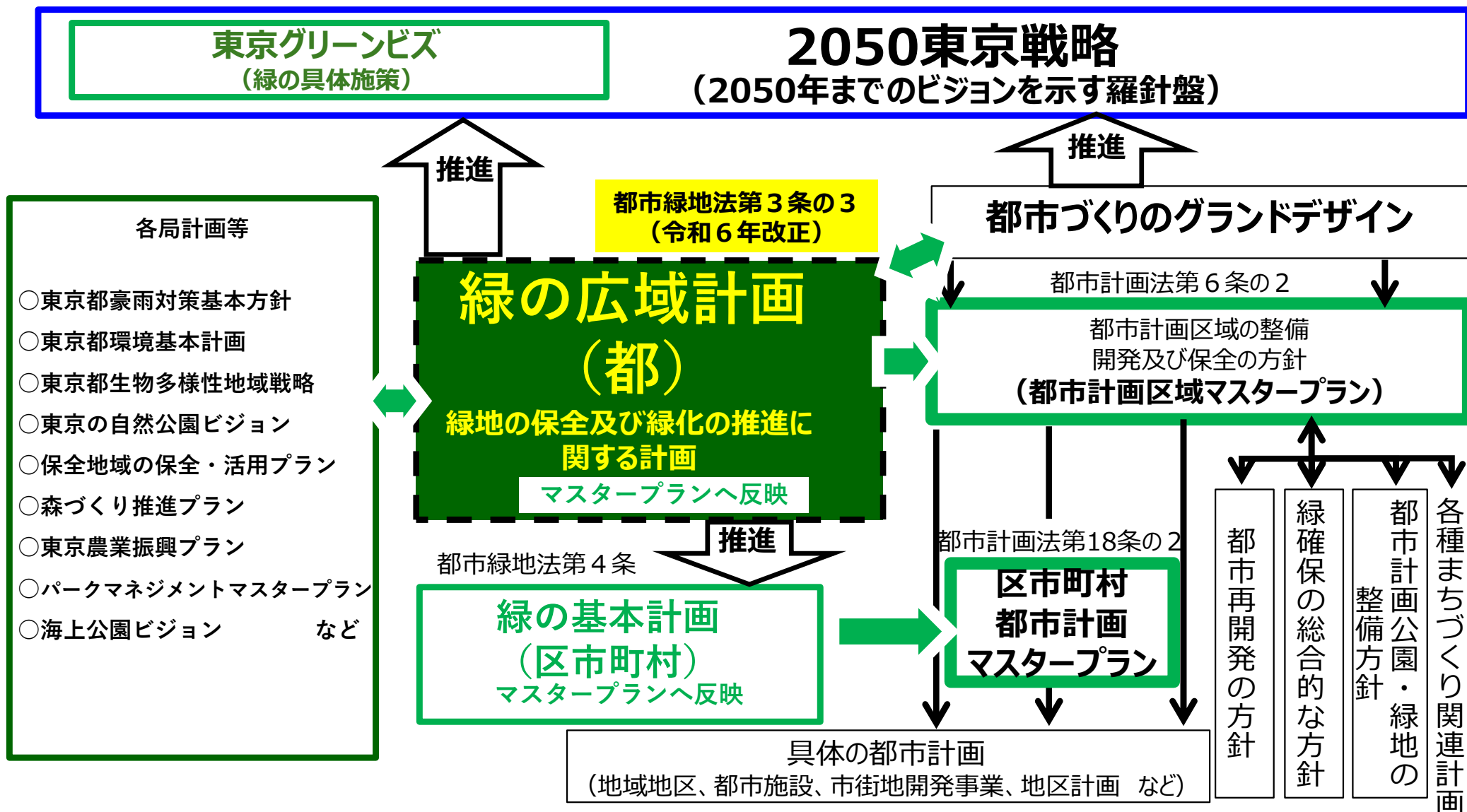
- 重点プロジェクト

次回

はじめに
計画の位置づけ

■ 計画の位置づけ

- 「緑の広域計画（仮称）」は令和6年度の都市緑地法改正に伴う法定計画として策定します。
- 都市計画区域マスタープランとの整合を図るとともに、区市町村が策定する緑の基本計画は緑の広域計画を勘案して策定されます。

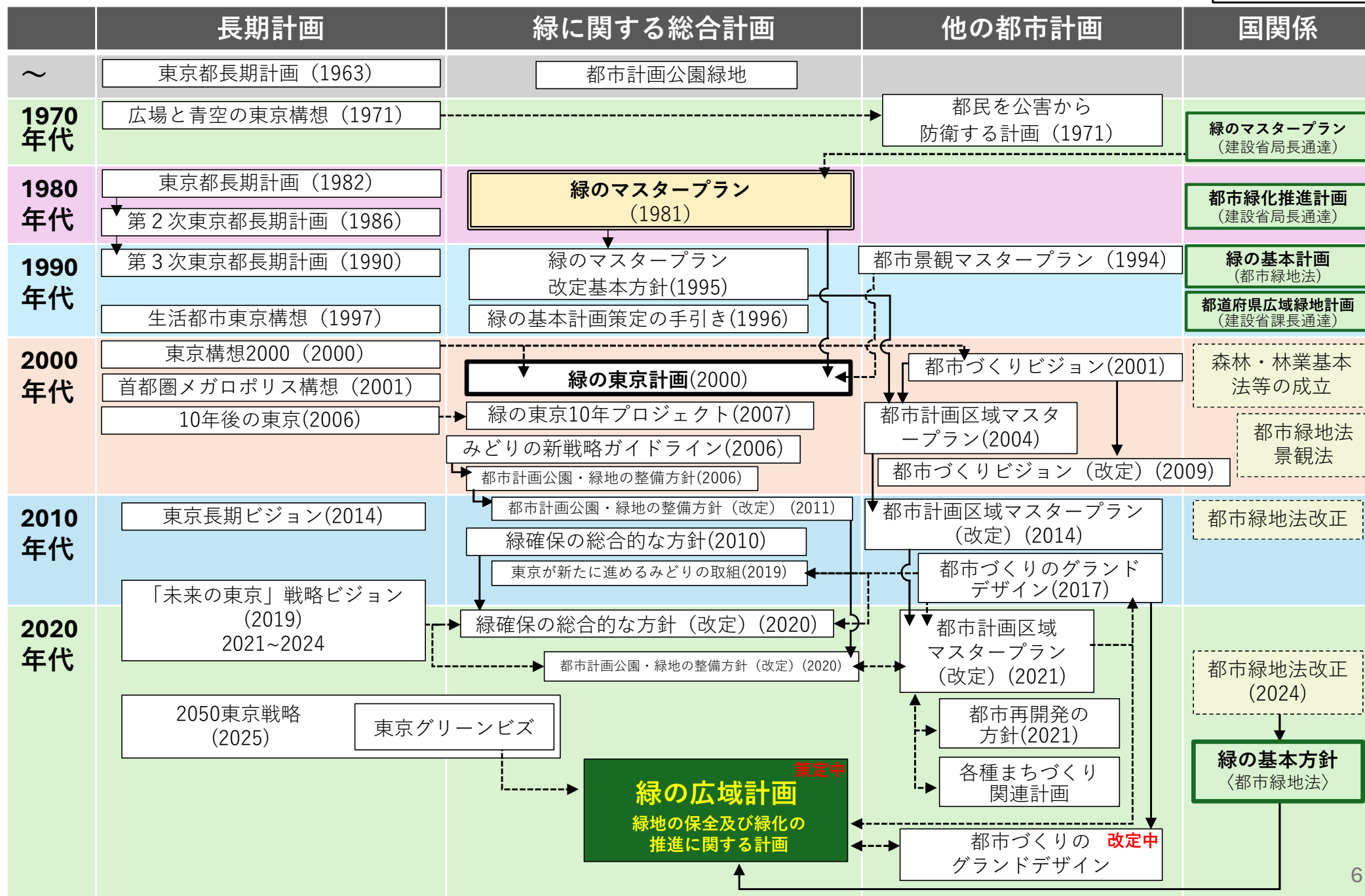


※「緑の広域計画」は、改定中のグランドデザインを踏まえ、2050年代の東京の緑を見据えるものとしします。 5

■ 計画の位置づけ

○本計画は1981年の「緑のマスタープラン」以来となる緑の長期計画となります。

→ 推進



序章

東京のみどりの大事にすべき特徴・価値

■ 東京のみどりの大事にすべき特徴・価値

○東京には将来にわたって大事にしていきたいみどりの特徴や価値があります。

東京のみどりは多様

- 東京の本土部は、日本最大の平野である関東平野の南西部の冷温帯と暖温帯の境界付近に広がり、その西端は関東山地の亜高山帯に達しています。
- 島しょ部は、北部の伊豆諸島と南部の小笠原諸島で構成されています。
- 東京の地形は、大きく山地、丘陵地、台地、低地及び島しょ部に区分されます。自然景観も、おおむねこの地形区分ごとにまとまった特徴を有しています。
- こうした多様な地形・自然環境に根ざした地域固有の文化や人々の営み等が発展し、時代に応じて様々なみどりが育まれてきました。

東京のみどりの大事にすべき特徴・価値について、主に地形により区分される場所ごとに、島しょ部も含めて整理します。

■ 東京のみどりの大事にすべき特徴・価値

1. 地形の成り立ち・特徴

- 東京の地形は、長きにわたる地殻変動や気候変動、河川的作用によって形成され、西から東にかけて、山地、丘陵地、台地、低地へと標高が低くなる階段状の地形が特徴です。
- 多様な地形とそれに基づく豊かな自然環境が凝縮されています。

山地

古生代から中生代にかけての海底堆積物が隆起してできた地形です。深い谷には多摩川や秋川が流れ、渓谷を形成しています。

丘陵地

古い台地の上に関東ローム層が分布した起伏のある地形です。浸食により平坦面がなくなりつつあり、尾根と谷が入り組んでいます。

低地

主に河川による土砂の堆積によって形成された地形です。荒川や江戸川周辺に広がる東京東部の平野や多摩川沿いの平野のほか、人工的な海岸や埋立地を含みます。

凡例

- 山地
- 丘陵地
- 台地
- 低地
- 島しょ
- 鉄道路線図
- 一級河川
- 二級河川
- 崖線



台地

関東ローム層が分布する平らな地形。多摩川、入間川、荒川、海岸段丘に囲まれ、東部は中小河川の浸食で複雑な地形を形成しています。台地の縁には多摩川や海岸線の移動により形成された崖線が見られます。

島しょ

伊豆諸島は本土部から連なる富士火山帯に属する火山由来です。小笠原諸島も火山活動により形成されました。

軸となる地形

崖線

河川の浸食によって形成された、台地と低地の境目にある急な斜面です。東京都では崖線の約4割が緑で被われており、緑の骨格の一つとなっています。

水系

多摩川水系、鶴見川水系、荒川水系及び利根川水系の4つの一級水系と、直接海へ注ぐその他の二級水系に大別されます。

2.山地のみどり

■天然林

- 雲取山周辺やその稜線部などには原生林に近い天然林が広がっており、**東京の豊かな自然を象徴する貴重な環境の1つです**
- 天然林の保全は**水源涵養、生物多様性保全、土砂災害防止の維持**にとって極めて重要な役割を果たします



資料：環境局「東京の自然公園」
資料：産業労働局「東京の木・森のしごと」

■人工林

- 標高が低い地域では、木材生産を目的として人の手によって植えられた「人工林」が広がり、江戸時代から、多摩地域は**木材の供給地として東京のまちづくりを支えてきました**
- 今後は、**適切な管理により、水源涵養や防災など人工林の多様な価値を引き出す取組が求められます**

■自然公園

- 東京都の総面積の約**36%ものエリアが自然公園に指定され、多様で豊かな自然環境**に恵まれています
- 自然公園には、農林業や漁業等の産業や食文化等、**人の営みと自然との深い関係性**も存在します
- 現在、都内の自然公園では、**トレイルランニング、エコツアー**等多様な利用が進んでいます



資料：環境局「生物多様性地域戦略」

3.丘陵地のみどり

■雑木林

- 東京西部に広がる広大な丘陵地は、**多摩地域を象徴する里山らしい景観**を形成しており、過去に薪炭林として利用・管理されていたクヌギ・コナラなどの雑木林を主体とした樹林が広がっています
- カタクリ等明るい林床を好む植物や昆虫をはじめ、豊かな生態系を育んでいます**
- 生態系の健全性を維持し、雑木林が持つ多面的な機能を保全するため、自治体や市民ボランティア等**様々な主体が保全活動を実施しています**



カタクリ

資料：政策企画局
「東京都の緑の取組 Ver.3」

■谷戸地形

- 谷戸地形は、丘陵地が樹枝状に浸食された浅い谷を指し、谷に向かって傾斜した集水域と谷戸頭からの湧水によって**涵養される湿地**で構成されます
- 昔ながらの景観を有する谷戸地形は、人の営みと適切な管理によって支えられ、湧水や谷戸田の存在により多様な生きものが**生息・生育する貴重な生態系**が残されています
- 谷戸地形の保全は、**単に自然を守るだけでなく、かつての里地里山の生活文化や、それが育んできた豊かな生態系を次世代に継承する**という、文化的な側面も強く持ちます



野山北・六道山公園
里山体験エリア 里山民家

資料：建設局HP [野山北・六道山公園の公園づくり|公園づくりの紹介](#) | 東京都建設局

4.1.台地・低地のみどり（1）

■都市農地

- 東京の農地は、食料生産の場だけでなく、潤いのある風景の形成や、災害時の避難空間としても役立つ貴重なオープンスペースであり、**多面的な機能を有します**



荻窪一丁目・成田西二・三丁目
農の風景育成地区（杉並区）
資料：都市整備局「緑の取組事例」

- 武蔵野台地の青梅街道や五日市街道沿いを中心に、江戸時代の新田開発の面影が残っており、**細長い短冊型の地割**が特徴的です

■屋敷林

- 都内には、800か所を超える屋敷林や平地林が確認され、**武蔵野らしさ、地域らしさを感じることもできる身近な緑**として貴重な存在です
- 各区市町村の保存樹木や保存樹林、都市緑地法に基づく市民緑地や特別緑地保全地区等の指定が進む一方、**相続等の要因により消失するものもあります**

■社寺林

- 地域の特色や歴史を感じられる身近な緑として都内に広く分布しています
- 寺社境内にはまとまった樹林地や大径木が残され、**東京都を代表する歴史的観光地**として都市の魅力向上に寄与しています



下保谷四丁目特別緑地保全地区
（西東京市）

資料：政策企画局
「東京都の緑の取組 Ver.3」

■都市公園等

- 都立公園は、**現在84公園、2,079haが開園**し、時代のニーズに対応しながら、**豊かな緑を育み、多くの都民に親しまれてきました**
- 東京の緑の骨格を形成するとともに、ふれあいの場、環境保全や防災、美しい景観など多様な機能を持つ、都市の資産であり、**都民のかけがえのない財産**となっています
- 都立公園のほか、都内には皇居外苑、新宿御苑といった**国民公園**や**区市町村立公園**等、**都民がみどりに親しめる魅力的な公園**が多数存在しています



資料：建設局「パークマネジメントマスタープラン」



資料：見どころ紹介 | 皇居外苑 | 国民公園 | 環境省

■庭園等

- 都立公園には**江戸から続くものを含め、歴史と文化が蓄積した貴重な遺産**としての庭園が**9か所**存在し、いずれも国や東京都の文化財指定を受けた我が国を代表する名園です
- また、**大型ホテル等の民有地**や、**区立公園**においても**四季折々の美しさ**が楽しめる魅力ある庭園等が存在しています



浜離宮恩賜庭園

資料：政策企画局
「東京都の緑の取組 Ver.3」



民有地の庭園の事例

4.2. 台地・低地のみどり (2)

■ 民間による多様な緑化

- 民間による大規模再開発が進む都心部では、都市開発諸制度、市民緑地認定制度、みどりの計画書制度などにに基づき、**高層ビル群の足元、屋上、壁面に質の高い緑地が創出**されています



民間による緑の創出

資料:都市整備局
「公開空地等のみどりづくり指針」

- 都心部における多様な緑地は、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上に貢献しています



ホテル外装部分の壁面緑化

資料:環境局「壁面緑化ガイドライン」

■ よみがえった臨海部の自然

- 埋立地や工業地帯であった東京湾岸において、**自然環境の再生と都民の生活の質の向上**を目指し、既成市街地のオープンスペースと関連した海上公園等が整備されています



干潟に飛来する渡り鳥

資料:港湾局「葛西海浜公園保全活用計画」

- 自然環境の回復と生物多様性の向上、都民の憩いとレクリエーションの場の提供、都市の景観向上と防災機能の強化**に寄与しています



海の森公園

資料:港湾局「海の森公園」

5.1. 軸となるみどり (1)

■ 崖線

- 崖線は、河川や東京湾の海による侵食作用でできた崖地に生育して残った緑であり、行政区域を越えて連続する**東京の緑の骨格**の一つです
- 崖線は、都内では大小約40か所、延長約230 kmに及んでおり、約4割が緑で被われています
- 低地と台地の間にあるため、**湿潤な土壌と乾燥した土壌、湧水等の水辺、自然度の高い植生等、多様性に富んだ自然環境を形成**しています



多摩川由来の崖線

資料:東京都都市整備局
「崖線の緑を保全するためのガイドライン (平成24年3月)」

■ 湧水

- 武蔵野台地の崖線や丘陵地帯を中心に、数多くの湧水が存在し、**それぞれが地域の自然や歴史、文化に深く関係しています**
- 多くの湧水は、多摩川が形成した武蔵野台地の崖線、特に「国分寺崖線」や「立川崖線」の周辺に多く見られます
- 都市化による地下浸透域の減少などにより、水量が減少し涸れてしまった湧水も存在しており、**都や各区市町村、地域住民は、湧水保全活動に取り組んでいます**



黒川湧水 (日野市)

資料:環境局「東京の名湧水57選」

5.2. 軸となるみどり (2)

■ 河川

- 東京都の河川は、治水・利水という機能的な側面だけでなく、**都市の中に残された貴重な自然や、人々の歴史・文化を伝える大切な存在として、その保全と活用が推進されています**



多摩川下流の干潟とヨシ原
資料：国交省
「多摩川水系河川整備基本方針」

■ 上水・用水・水路等

- 上水（飲料水）、用水（農業・工業用）、水路（運河等）は、都市の歴史とともにその役割や形態を変化させながら、常に人々の暮らしを支え続けてきました
- 現在では、水の安定供給だけでなく、**水環境の保全や市民の憩いの場としての役割も見直されています**

■ 街路樹

- 「街路樹の充実事業（街路樹100万本計画）」により、街路樹の植栽を進め、平成27年度末に**目標を達成**しました
- 東京2020大会を契機として、**夏の強い日差しを遮る木陰を確保するため、街路樹の樹冠拡大の取組**が行われています

- 街路樹のみどりには、人にうるおいや安らぎを与えるほか、都市環境の改善、美しい都市景観の創出など、様々な役割があります
- 街路樹と道路、周辺のまちづくりと一体となった**広がりや厚みのある快適な歩行空間や緑空間を創出**しています



表参道のケヤキ並木
資料：建設局HP [道路の維持補修](#)
[第二建設事務所|東京都建設局]

6. 島しょのみどり

■ 地域固有のみどり

- 島しょ部は、温帯から亜熱帯の多様な気候帯にあり、火山活動に由来する**独自の地形や景観を持つ島々**が連なっています
- 豊かな海洋資源と固有の自然環境や生態系**を有しており、特に小笠原諸島は、陸産貝類など数多くの固有種が存在し、その生態系が評価され世界自然遺産に登録されているほか、原生的な自然を有する無人島も存在しています



オガサワラカワラヒワ
資料：東京アルバム 特集
「東京の島々」

■ 島しょで育まれた文化・歴史

- 各島は**自然環境と密接に関連した固有の文化・産業（農林水産業、観光業等）が盛んです**。
- 自然の恵み**とともに脅威（火山活動や台風等）も身近にあります



アシタバ
資料：東京アルバム 特集
「東京の島々」

■ 自然公園

- 都心からも近く、海などの地域資源を活用した観光など**貴重な癒しの場所**としての機能があります



大島（三原山）
資料：環境局「生物多様性地域戦略」

第1章

東京のみどりの置かれている状況と課題

■ 東京都のこれまでの取組状況

- 東京都では、「2050東京戦略」で掲げる、2050年代のビジョン「豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京へ」の実現に向け、100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進しています。

■ 2050東京戦略 2050東京戦略 ～東京もっとよくなる～

2050東京戦略「19 緑と水」における記載（抜粋）

2050年代のビジョン

豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京へ

2035年に向けた政策の方向性

- 豪雨・暑さ対策や生物多様性の保全・回復に資するよう、今ある緑をまもり、
緑の減少に歯止めをかけるとともに、新たな緑を創出し、適切に維持管理

■ 東京グリーンビズ みどりと生きるまちづくり TOKYO GREEN BIZ

- ふれあいの場の形成、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、防災力向上、景観形成など、緑の機能を最大限発揮
- 緑に親しみ・楽しみながら育むために、都民をはじめ様々な主体と連携・協力

緑の減少に歯止めをかける

- 農地を守る
- 樹林地（屋敷林等）を守る
- 森林（水道水源林等）を守る



緑の持つ多様な機能や価値の活用

- グリーンインフラの導入
- 多摩産材の活用
- 水辺に親しむ空間づくり

緑の創出・適切な維持管理

- 公園の整備
- 街路樹の充実（安全性や快適性の確保）
- まちづくりに合わせた、まちなかの緑の創出

■ 東京都のこれまでの取組状況

1. 農地や屋敷林などの保全

農地や樹林地など既存の緑を保全し、未来へ継承する取組を行っています。

■ 緑確保の総合的な方針（平成22年策定・令和2年改定）

- 年々減少している民有地の緑やあらゆる都市空間への緑化を都と区市町村が合同で推進する計画を策定しました

■ 農の風景育成地区制度（平成23年制定）

- 農地や屋敷林がまとまって残る地区を「農の風景育成地区」に指定し、地域のまちづくりと連携しながら、農のある風景を将来にわたり保全・育成する制度です



指定地区の屋敷林
資料：杉並区「農の風景育成地区」



指定地区の農地
資料：都市整備局「緑の取組事例」

2. 都市計画公園・緑地等の整備

計画的な都市計画公園・緑地等の整備により、永続的なみどり空間の確保を進めています。

■ 都市計画公園・緑地の整備方針

（平成22年策定・令和2年改定）

- 都市計画公園・緑地の整備を計画的かつ効率的に進めるための事業化計画を策定しました

■ 海上公園ビジョン（平成29年策定）

- 東京港の埋立地とその周辺水域を対象に、海と陸が一体となった公園を整備し、自然環境の保全・回復と都民のレクリエーション空間の創出を目的とした指針を策定しました



干潟に飛来する渡り鳥
（葛西海浜公園）



海に親しめる空間
（お台場海浜公園）

現状のみどりの量

①屋敷林 **約200ha**

（令和2年7月時点）

②特定生産緑地 **約2,232ha**（指定率97%）

（令和6年12月末時点）

③特別緑地保全地区 **約322ha**

（令和7年5月末時点）

④農の風景育成地区 **7か所**

（令和8年3月末）資料：都市整備局「特別緑地保全地区一覧」

特別緑地保全地区

指定面積 (ha)



現状のみどりの量

①都立公園 **約2,079ha**

②区市町村立公園 **約3,869ha**

③海上公園 **約946ha**（40カ所）

※都市公園の箇所数は **全国1位**（約8,800か所）

（令和7年4月1日時点）

平成18年の
約1,802haから
約1.5割増

■ 東京都のこれまでの取組状況

3.民間活力活用による緑創出

まちづくりに合わせた緑化や立体的な緑の創出を促進し、都市に新たな緑を生み出しています。

■東京における自然の保護と回復に関する条例

(昭和47年制定、令和6年改正)

- 一定規模以上の敷地での建築等に対し、一定割合の緑化を求める**緑化計画書の提出を義務付けています**
(平成12年改正)



資料：環境局「壁面緑化ガイドライン」

■公開空地等のみどりづくり指針

(平成19年策定、平成30年改定)

- 公開空地※を都市の緑化に効果的に活用するための指針を策定しました

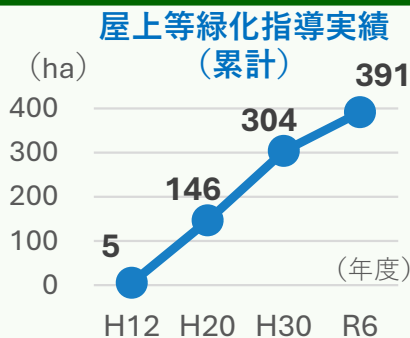
※「公開空地」とは、民間の敷地内に一般の人が自由に利用できる広場や通路として整備される空間です



公開空地の事例

現状のみどりの量

- 都心3区で**約60,000㎡の緑を創出**
(「東京都の緑の取組 ver.3(令和7年1月)」より)
- 屋上等緑化指導実績**約391ha** (令和7年3月末時点)



参考：環境局「屋上等緑化実績」

4.東京都の緑の保全・創出支援プログラム

東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を加速させるため、区市町村の緑の保全・創出の取組を強力に支援しています。

▼「東京の緑の保全・創出支援プログラム」に記載している自治体向けの制度例

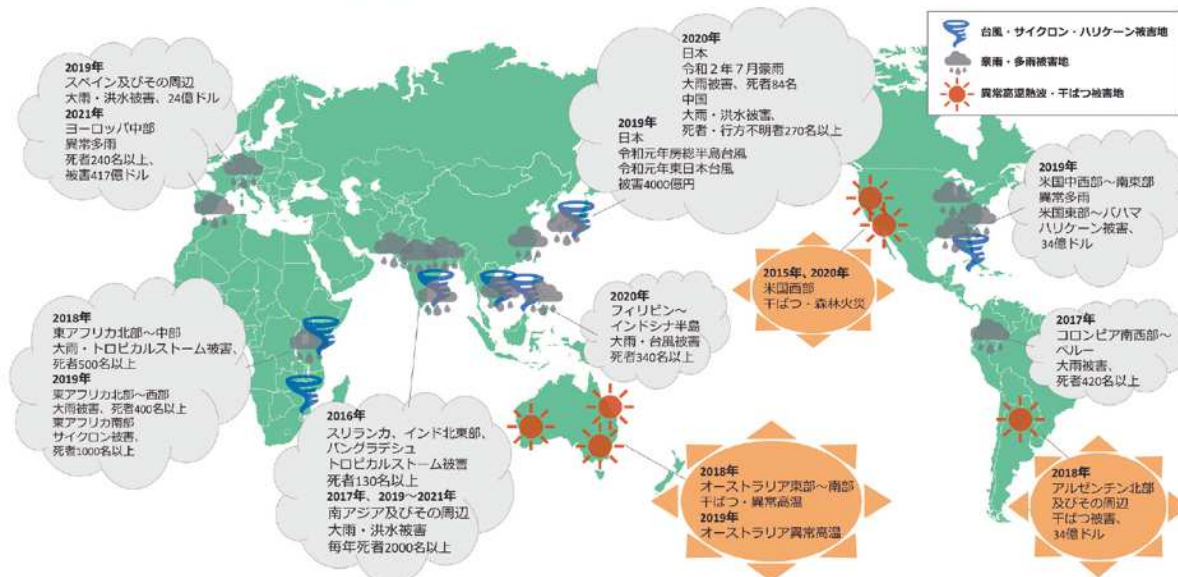
	制度名	概要
公園・緑地・農地	特別緑地保全地区買取等補助事業 (都市整備局)	減少が続く屋敷林等の身近な樹林地の保全に有効な特別緑地保全地区の指定を促進するため、自治体が行う土地の買取・整備に対する支援
	緑あふれる公園緑地等整備事業 (都市整備局)	都市計画施設以外の公園緑地計画地を対象に、東京の緑の骨格、身近な樹林地の保全など、都市における緑の保全創出への支援
	生産緑地公園補助制度 (都市整備局)	都市計画公園・緑地内の生産緑地等を公園・緑地整備を目的とする用地取得費・整備費への支援
	市町村土木補助事業 (建設局)	都市公園法第2条に定める都市公園の整備事業への支援
その他	生物多様性保全のための生物基礎情報調査事業 (環境局)	各地域の動植物種分布や動向、動植物の良好な生息生育環境等の自然環境情報の収集・整理への支援
	地域の生態系や多様な生きものの生息・生育環境の保全事業 (環境局)	緑地や水辺等の生きものの生息・生育環境の確保やみどりの質の向上、緑地の利活用に関する取組への支援

■ みどりに関わる動向

1.地球環境の変化

地球温暖化による気候変動の進行によって局地的な集中豪雨の発生、台風の大型化、猛暑日の増加など、自然災害の脅威が高まり、市民の暮らしに大きな影響が生じています。

世界の主な異常気象・気象災害（2015年～2021年発生）



(注) 2015年から2021年までの主な異常気象・気象災害を抜粋して掲載（気象庁「世界の年ごとの異常気象」）。
資料）気象庁公表資料をもとに国土交通省作成

資料：国土交通省「国土交通白書2022」

2.国際的な枠組み

地球規模の課題（気候変動、生物多様性、経済など）に対し、各国が共通の目的を持ち、協力して解決を目指す国際的な合意や取り決めをしています。

■パリ協定

- 平成27（2015）年のCOP21で採択され、2016年に発効した、2020年以降の地球温暖化対策に関する国際的な枠組みです
- 世界の平均気温上昇を1.5°Cに抑える努力をするを世界共通の目標としています

■昆明・モントリオール生物多様性枠組

- 令和4（2022）年12月のCOP15で採択された、新たな生物多様性に関する世界目標です
- 2050年ビジョン「自然と共生する世界」を掲げ、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せるための「2030年ミッション」が設定されました

■持続可能な開発目標（SDGs）

- 平成27（2015）年の国連サミットにおいて、193の加盟国の全会一致で採択された国際共通の目標です
- 誰一人取り残さない、持続可能な世界を実現するための環境・経済・社会の3つの側面から、17の目標と169のターゲットが定められています

■ みどりに関わる動向

3. 社会情勢

グローバル化の進展、人口減少・少子高齢化、成熟社会の過渡期など、社会情勢は絶えず変化しています。

■ グローバル化の進展

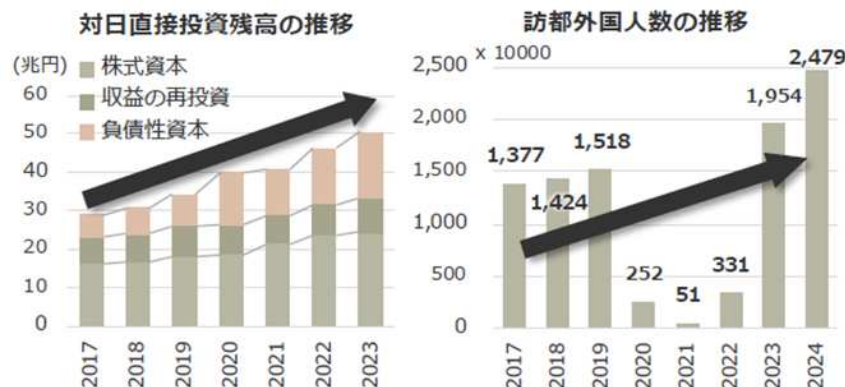
- 移動手段や情報通信技術の発達により、国境を越えた交流が活発となっており、今後は、異なる文化や価値観を理解し、共生する姿勢がより重要となります

■ 少子高齢化

- 生産年齢人口が減少し、社会保障制度の維持が困難になるほか、地域コミュニティの活力低下といった問題が深刻化することが予想されます

■ 成熟社会の過渡期

- 物質的な豊かさが満たされた現代において、人々は心の豊かさを求めるようになり、社会は「成熟社会」へと移行しています
- この過渡期は、多様な価値観や幸福のあり方を追求する時代の転換点であり、新しい社会の在り方を構築することが求められています



資料：産業労働局「令和6年訪都旅行者数等の実態調査結果」
ジェトロ「2024対日投資報告」

4. みどりの多面的価値

社会情勢や人々の価値観が変化するなか、都市のブランドの向上や健康増進、子ども発達といった、みどりが持つ多面的な効果・価値が再認識されています。

■ みどりと不動産価値

- 都市部におけるみどりの創出は、周辺エリア全体のブランド力と投資意欲を牽引し、高い付加価値をもたらします

■ みどりと健康

- 都市緑地は、ストレス緩和とリラックス効果、身体活動、コミュニティの結束強化といった機能を通じて、人々の健康とWell-beingを支えています
- 身近な公園の活用や、歩行意欲を高める歩道整備や景観形成等、日常的な身体活動を促進する場を「まちづくり」として創出することが重要になっています

■ みどりと子供

- 体を動かす様々な遊びは、子どもの運動機能の発達だけでなくコミュニケーション能力、思考力を育みます
- 学校内外の自然体験活動は、生命や自然を尊重する精神、環境保全に取り組む態度を養います
- 小さな子どもだけでなく、思春期年代ではスポーツやレクリエーションに親しむことで、自己肯定感の向上や健やかな精神発達を促す役割を果たしています

■ みどりに関わる動向

5. 国の動き

- 都市緑地法の関連法令が一括で改正され、これにより都市における緑地の保全及び緑化の推進が一層強化されました。
- 緑の基本方針では緑地の保全及び緑化の推進の意義や全体目標、個別目標等が示されています。

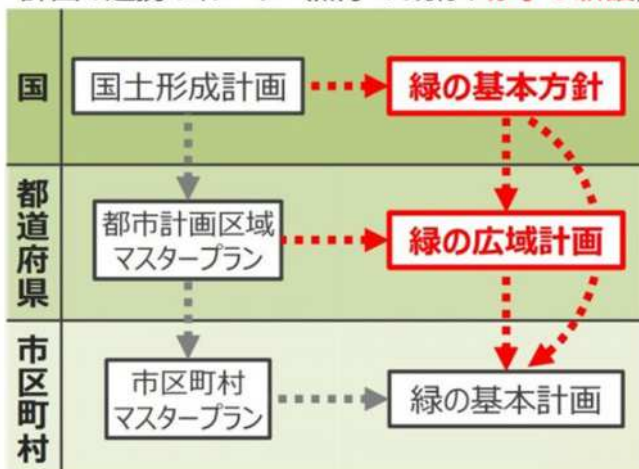
■ 都市緑地法改正（令和6年11月施行）

- ・気候変動対策や生物多様性の確保、幸福度（Well-being）の向上等の課題解決に向けて、緑地が持つ機能に対する期待が高まっていることから、都市において緑地の質・量両面での確保等を推し進めることを目的として、関係法令を一括で改正

■ 緑の基本方針（令和6年12月策定）

- ・都市緑地法の改正を受け、都市における緑地の保全及び緑化の推進の基本的な方針等を定めた基本方針を策定
- ・今後、本基本方針に基づき、都道府県の「緑の広域計画」、市町村の「緑の基本計画」の策定や内容の一層の充実を促す

計画の連携のイメージ（黒字：既存、赤字：新設）



緑の基本方針の概要

意義	気候変動対策	生物多様性の確保	Well-beingの向上	都市のレジリエンスの向上	歴史や文化の形成、美しい景観の創出、環境教育・生涯学習の場としての活用	都市における生産機能、循環型社会への寄与	ESG投資の拡大、気候関連・自然関連情報開示への対応
全体目標	将来的な都市のあるべき姿「人と自然が共生し、環境への負荷が小さく、Well-beingが実感できる緑豊かな都市」 国全体として都市計画区域を有する都市の緑地を郊外部も含め保全・創出し、そのうち市街地については緑被率が3割以上となることを目指すとともに、都道府県が定める全ての「緑の広域計画」及び市町村が定める全ての「緑の基本計画」において、以下の3つの都市の実現に向けた取組及び関連する指標等を位置づけることを促す						
個別目標	環境への負荷が小さいカーボンニュートラル都市 CO ₂ の吸収源としての役割を担う緑地の保全・整備・管理及び緑化の総合的な取組を推進することにより、カーボンニュートラルの実現に貢献		人と自然が共生するネイチャーポジティブを実現した都市 緑地の確保を進めるとともに、適切な樹林更新等による緑地の質の向上を図り、緑地を生態系ネットワークとして有機的に結びつけることで、広域レベルでの緑地の量的拡大・質的向上を推進する		Well-beingが実感できる水と緑豊かな都市 地域の実情に応じた緑地の質・量の確保を図り、精神的・身体的な健康の増進、コミュニティの醸成、都市のレジリエンスの向上等のグリーンインフラとしての多様な機能を発揮させていく		
推進の視点	多様な主体の連携、各主体の役割分担 国、都道府県、市町村、都市緑化支援機構、教育・研究機関、民間企業・事業者等、NPO法人等、都市の住民の各役割に応じた連携、分担等				多様な資金、体制等の確保 民間からの投資、寄附金の受入れなど多様な資金の確保、官民連携などによる体制の確保等や、これらを支える仕組みが必要		
	緑地の更なる充実 より質を重視した保全・活用を実施するとともに、生物多様性の確保、景観・歴史文化の形成等にも考慮し、樹木の更新等を計画的に実施						
	緑地の広域的・有機的なネットワーク形成 気候変動対策、生物多様性の確保、Well-beingの向上に向け、グリーンインフラとしての多様な機能を一層発揮するため、各主体が連携し広域的な緑地のネットワークを形成						
実現のための施策	都道府県の「緑の広域計画」、市町村の「緑の基本計画」の策定促進 行政による永続性の担保された公的な緑地の確保の推進 ・特別緑地保全地区の拡大・質の向上（機能維持増進事業等）への支援 ・都市公園等の公的空間における緑地の確保・緑化の推進 ・地方公共団体に対する技術的支援				民間による緑地の保全・創出の促進 ・良質な緑地への民間投資を促進する環境整備 ・民有地における更なる緑地の創出に向けた各制度の活用等の促進 ・都市農地の保全に向けた各制度の活用等の促進		
	価値観の醸成、多様な主体の参画・協働の促進に向けた普及啓発、環境教育の推進				「緑の広域計画」の策定と計画に基づく各取組の実施 ・一つの市町村を超える広域的な見地から、広域計画を策定 ・都道府県における緑地の保全及び緑化の推進に関する措置を総合的に示し、計画的かつ積極的に当該措置を実施（都市公園の整備・管理、特別緑地保全地区や緑地保全地域等の制度の活用等）		
					「緑の基本計画」の策定と計画に基づく各取組の実施 ・地域の実情をよく把握している基礎自治体として、基本計画を策定 ・市町村における緑地の保全及び緑化の推進に関する措置を総合的に示し、計画的かつ積極的に当該措置を実施（都市公園の整備・管理、特別緑地保全地区や緑地保全地域、生産緑地地区、緑化地域等の制度の活用等）		
					コンパクト・プラス・ネットワーク等のまちづくりの取組との連携		
					まちづくりDXとの連携等		

東京が抱えるみどりの課題

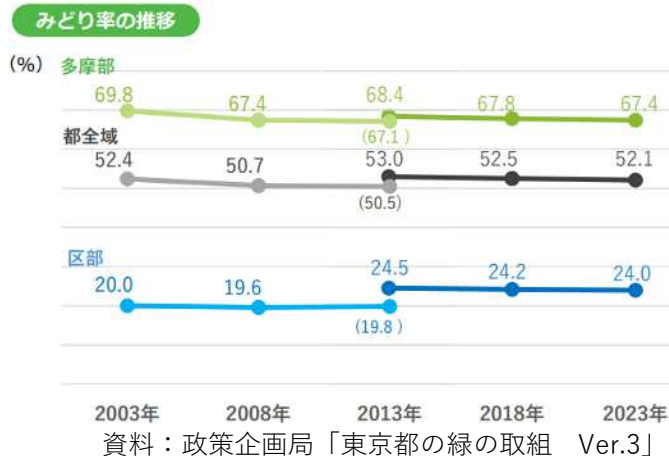
1. みどりの量

- 「公園・緑地」は増加しているものの、「農用地」及び「樹林・原野・草地」は減少傾向です。
- まちなかにおいては、みどりを実感しにくい地区もあります。

■みどり率 (出典：東京都環境白書2023及び2024 (環境局))

都全体において、平成25年～令和5年の10年間で

「公園・緑地」は
0.2ポイントの増加、
「農用地」は
0.6ポイントの減少、
「樹林・原野・草地」は
0.5ポイントの減少
となっています



■農地面積

近年は約50~100ha/年のペースで生産緑地が減少しています

■量に対する実感

▼緑を身近に感じにくい場所 (例) (※再開発により改善)



資料：港区「市街地再開発事業における良好な取組に関する事例集」

2. みどりの構造

- 崖線など自然由来の緑の骨格が視認されにくいエリアもみられます。
- 防災・減災機能の強化や都市環境の改善等に重要なみどりの連担性が途切れているところもあります。
- 公園整備や屋敷林の保全等は地域によってその取組差も生じており、拠点となるみどりも偏在しています。

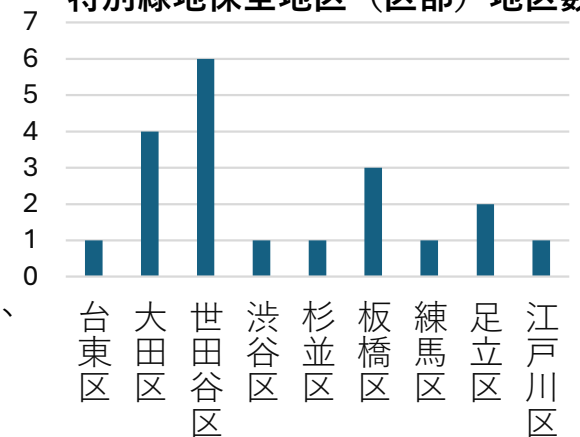
■拠点・骨格となるみどりの形成

みどりの連担性等が開発により失われている場所も存在しています

■みどりの偏在 (取組の地域差)

既存の緑の保全に関する取組は基礎的自治体事務となっているものが多く、自治体間で取組成果に差が生じています

特別緑地保全地区 (区部) 地区数



※ 自治体独自の条例による保全 (例)

「世田谷区みどりの基本条例」

「練馬区みどりを愛し守りはぐくむ条例」等

東京が抱えるみどりの課題

3. みどりの質

- みどりの管理不足等により、みどりの質（健全性や美観等）が損なわれている状況も散見されます。
- 近年の気象状況からは緑陰の創出が望まれています。

■ みどりの管理不全

- 維持管理コストの増加や労力の不足により、管理が行き届かず、緑地の荒廃・枯損が深刻化しています
- 腐朽・病害による倒木リスクや、景観を損なう剪定など、地域の安全や景観に影響を及ぼしています

▼腐朽・病害による
通路への倒木

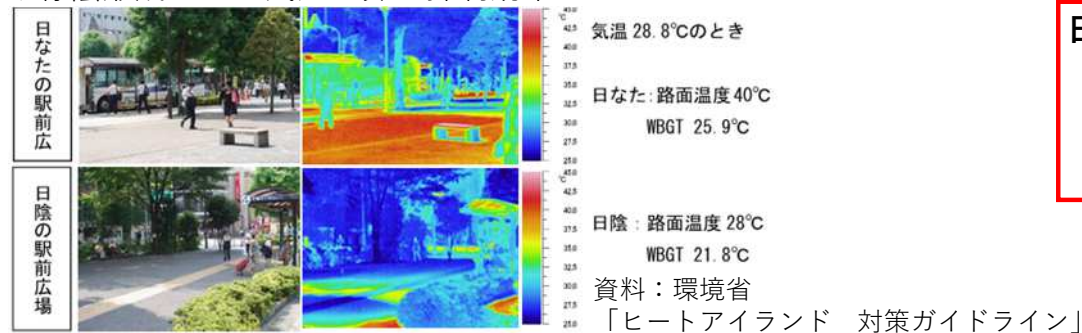


資料：国土交通省「倒木等による
事故に関する全国調査について」

■ 緑陰の不足

- 市街地等で緑陰が不足している場所があります
- 気温上昇の抑制などみどりが持つ多様な効果の発揮のため、さらなる緑化と計画的な植え替えを進めていく必要があります

▼ 緑陰形成による気温上昇の抑制効果



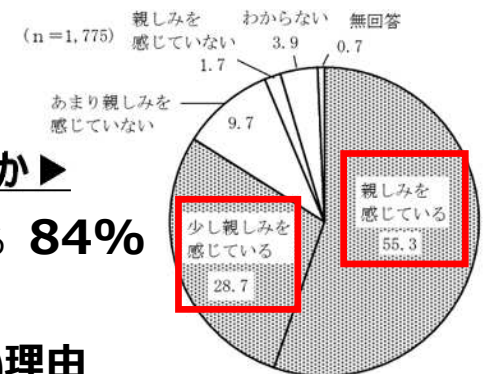
4. みどりへの印象

- 80%以上の都民が、東京のみどりへ親しみを抱いています。
- 一方、日常生活でみどりと触れ合う機会を増やすことが重要です。
- 身近な緑（街路樹・公園の緑など）を保全・増やしたいと考えている人が多く、活動意欲のある人を含め、人とみどりがかかわる場の提供が求められています。

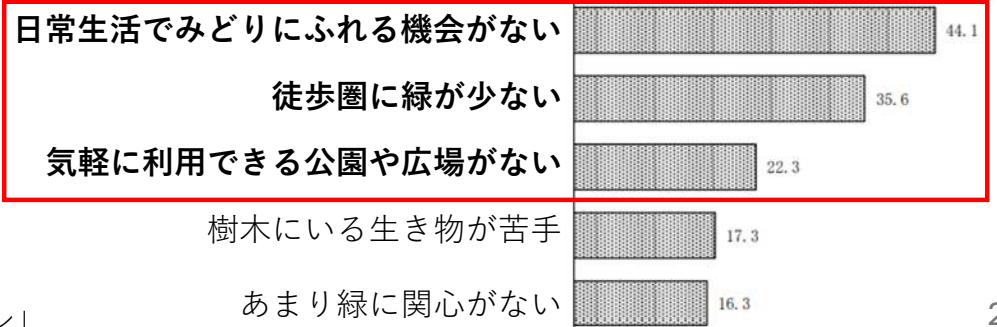
■ 「東京の緑・景観・屋外広告物に関する世論調査」 (令和5年度実施)

東京の緑に親しみを感じているか▶

緑に親しみを感じている **84%**



▼ 東京の緑に親しみを感じない理由



■ 東京が抱えるみどりの課題

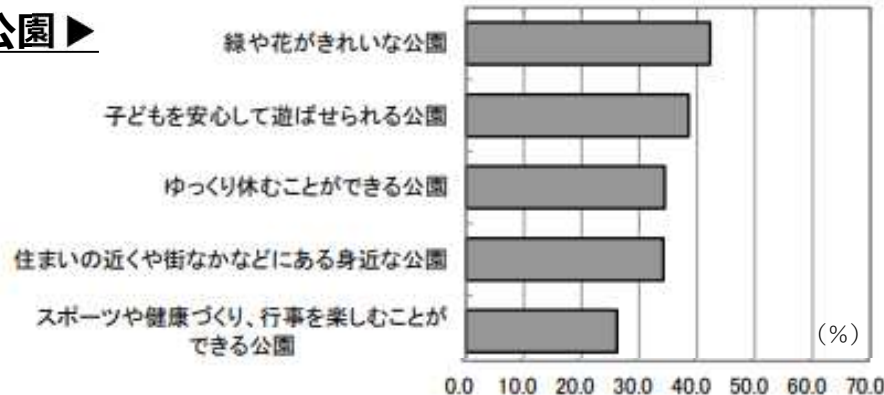
5. 「ひと」と「みどり」の関わり

- 利用者は、「緑や花」、「子どもの遊び場」、「くつろぎ」を楽しむことのできる、身近な公園を望んでおり、公園には多様な利活用ニーズが存在します。
- ボール遊び・スポーツができる遊び場を望む子ども・保護者は60%以上。思春期年代の子どもたちにおいても、ボール遊びやスポーツ等の外遊びができる遊び場に関するニーズが高い状況です。
「こども都庁モニター令和5年度 第1回アンケート結果」より

- 内閣府の調査では、約8割が身近なみどりなどの環境に満足している一方、散歩する場所や遊び場が少ない、緑が少ないという意見があり、満足度を向上させる取組が求められています。
「身近な環境（水辺、緑地、大気など）に関する世論調査」（内閣府 令和6年度実施）より
- 約4割の都民が、緑を増やすことや保全することに関する活動をしています。
- 植物栽培や、ボランティア等、緑に関する具体的な行動を期待する都民も一定数存在しています。

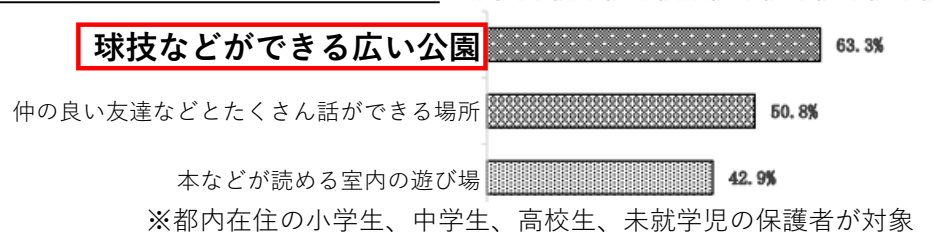
■ 「令和3年度 都市公園利用実態調査」 (国土交通省)

欲しい公園▶



■ 「こども都庁モニター令和5年度 第3回アンケート結果」

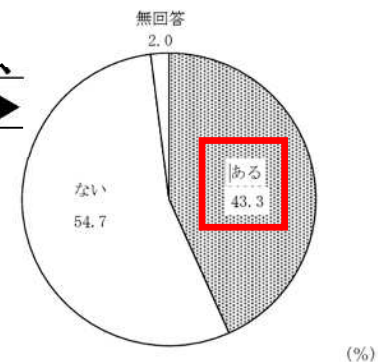
家の近くにあってほしい場所▼



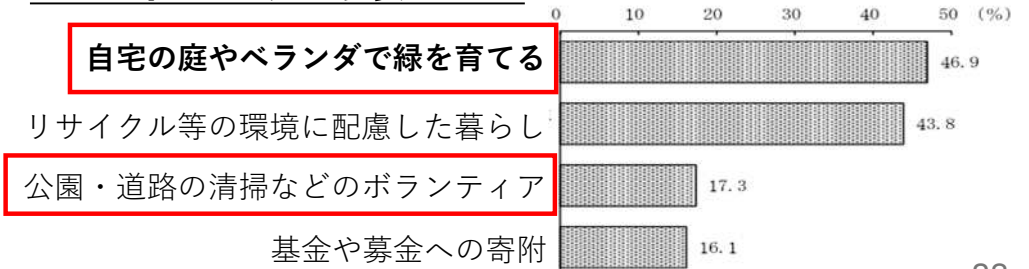
■ 「東京の緑・景観・屋外広告物に関する世論調査」 (令和5年度実施)

緑を増やすことや保全することに関して、 現在何が行っているか▶

緑に関する活動をしている
▶43%



▼緑に関して今後やりたいこと



東京が抱えるみどりの課題

6. みどりのランキングにおける東京の国際的な位置づけ

○森記念財団 都市戦略研究所の「世界の都市総合力ランキング 2025年」において、東京都の緑地の充実度は48都市中28位と、他都市と比較すると下位に位置付けられています。都市の魅力を高める取組を一層推進していくことが重要です。

○OECD（経済協力開発機構）の「Built Environment through a Well-being Lens」（2023年11月）において、東京都（23区）の緑地の割合や1人当たりの緑地面積は、他都市と比較すると下位に位置付けられています。

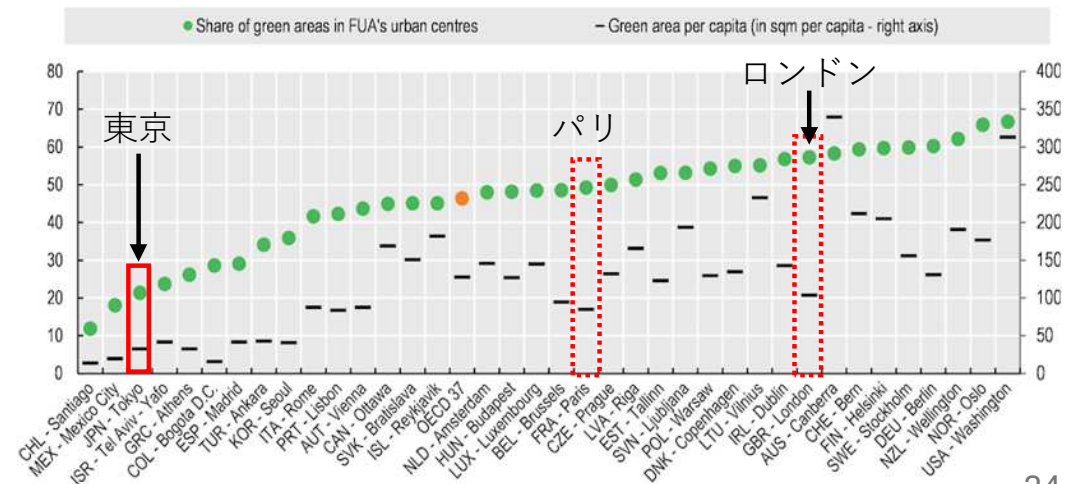
「Global Power City Index, GPCI（世界の都市総合ランキング 2025年）」 （森記念財団 都市戦略研究所）

東京都（23区）の順位：
緑地の充実度 28位／48都市
（2024年の35位から7位アップ）

順位	都市名	順位	都市名
1	ロンドン	23	パリ
2	モスクワ	24	ニューヨーク
3	ジュネーブ	25	ソウル
4	ストックホルム	26	マドリード
5	シンガポール	27	台北
6	香港	28	東京
7	バンクーバー	29	ミラノ
8	シドニー	30	シカゴ
9	アムステルダム	：	：
10	チューリッヒ	：	：
：	：	：	：

「Built Environment through a Well-being Lens」（OECD（経済協力開発機構）2023年11月）

東京都（23区）の順位：
 ・ FUA（機能的都市域）における緑地の割合 **21.4%**（35位／37都市）
 ・ 1人当たりの緑地面積（㎡） **33㎡**（33位／37都市）



第2章

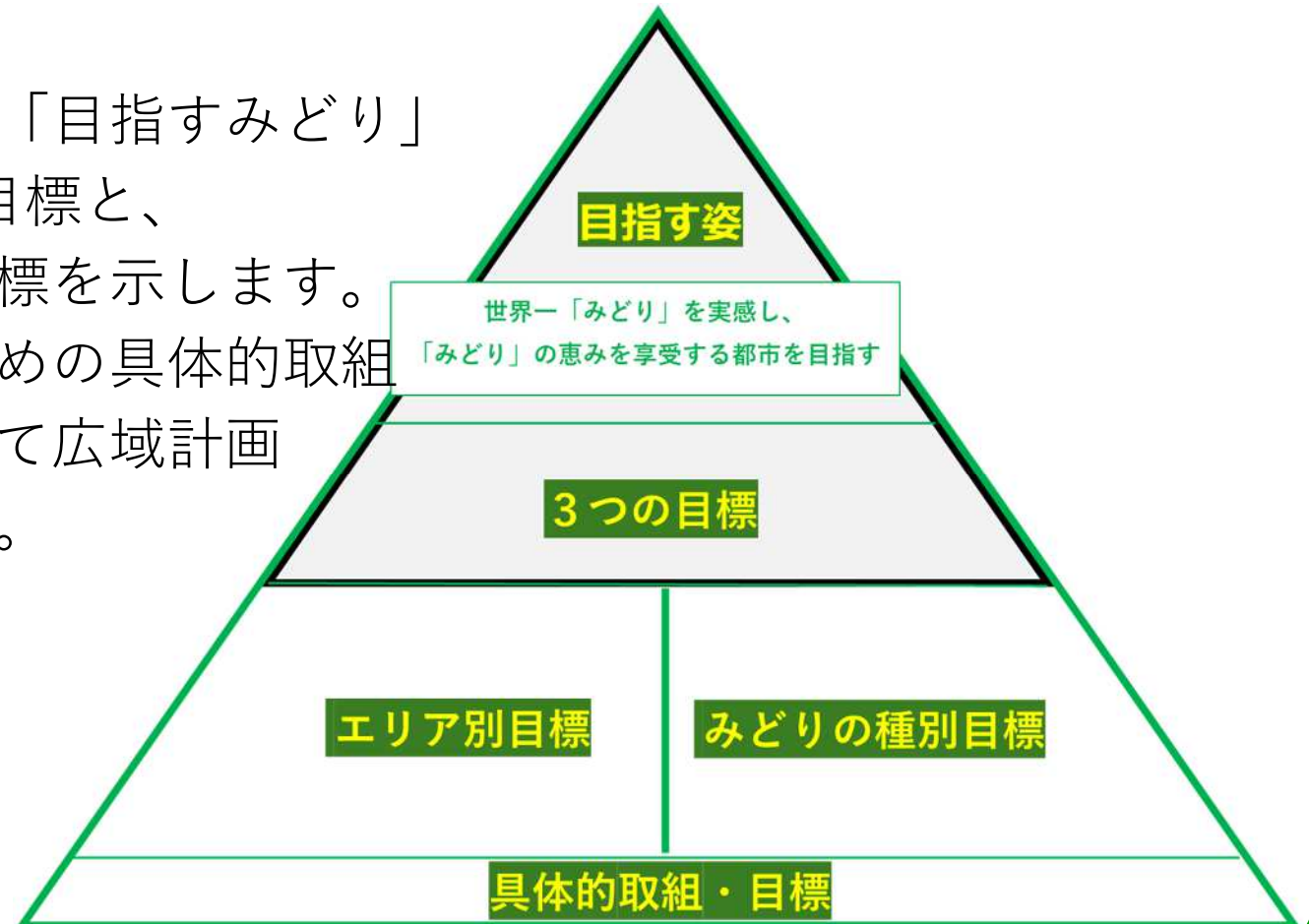
東京のみどりが目指す姿

東京のみどりが目指すもの

○多様な地形・自然環境とこれに根ざした文化・歴史と共に育まれてきたみどりは**世界に唯一無二の東京ならではのみどり**であり、現状や課題を踏まえ、その**魅力や価値を次世代に引き継いでいく**ことが重要です。

○これらの魅力や価値を活かすとともに、課題解決を図り、**世界一「みどり」を実感し、「みどり」の恵みを楽しむ都市**を目指します。

※中間のまとめは、この「目指すみどり」の実現に向けて、3つの目標と、そのエリア別・種別の目標を示します。今後、これを実現するための具体的取組も検討し、目標とあわせて広域計画としてまとめていきます。



東京のみどりが目指す姿

世界一「みどり」を実感し、「みどり」の恵みを楽しむ都市を目指す

MIDORI COMPASS

2050年に向けてあるべき東京のみどり

上記の目指す姿を実現するための取組にあたって、基本的な考え方は次のとおり

- 東京のみどりの**骨格**や**特徴**を明確化し、その魅力を発展
 - ・骨格：丘陵地～臨海部へとつながる水系や崖線を軸とした多様な自然環境 ▶みどりの成り立ちの視点
 - ・特徴：歴史的景観・風土の形成、民間活力の活用、自然再生技術の発現 ▶まちづくりの視点
- みどりの**ポテンシャル**を最大限発揮し、**その恵み**を享受 ▶人の関わりの視点
 - ・ポテンシャル：都市の魅力、Well-being、レジリエンス、生物多様性、生産・循環、環境再生など



農地



街路樹



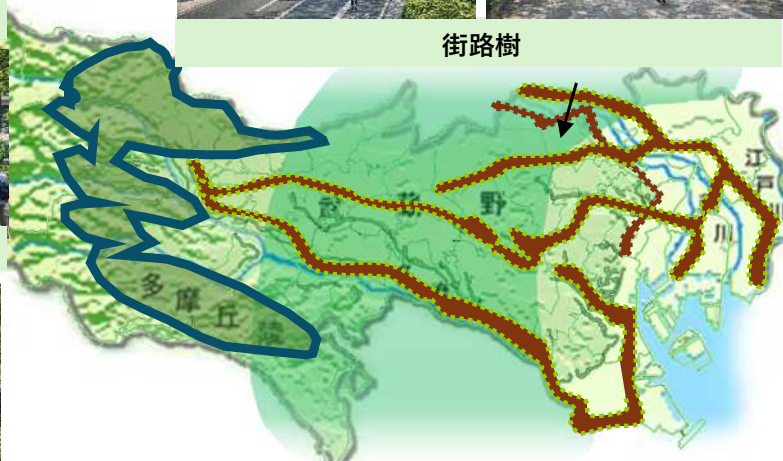
まちなかのみどり



崖線・河川・上水・用水・水路等



里地里山※のみどり



自然公園・森林・島しょ等



歴史的なみどり



公園



臨海部のみどり

※里地里山：原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草地などで構成される地域で、東京では主に多摩地域にみられる

※画像生成AIにより作成

多様なみどり溢れる都市・東京（みどりの成り立ちの視点）

○人と自然が共生できるネイチャーポジティブの実現へ

- ◆奥多摩・檜原から武蔵野・山手・下町へとつながる「みどり」を再構築
 - ▶「東京の自然の成り立ち」に根差した基盤となる「みどり」を重視
山地・丘陵地・台地・平地・臨海部に残る樹林地等自然地を保全し、回復への軌道に乗せる
軸となる崖線の緑の保全・回復、河川等水系「みどり」の拡充
 - ▶多様な自然環境に即した生物多様性の保全・回復
- ◆大昔～江戸時代～近現代と時代軸で捉えても多彩な「みどり」の保全・回復

魅力的なみどり溢れる都市・東京（まちづくりの視点）

○「みどり」を量・質ともに際立たせ、カーボンニュートラル都市の実現へ

- ◆まちの魅力の核となり、グリーンインフラとしても機能する「みどり」の創出・保全
 - ▶あらゆるところで「みどり」を視認・体感
 - ▶先進国の首都としては極めて珍しい農地との共存都市
 - ▶内外の多様な人にとって魅力的で名所となる多彩な「みどり」
 - ▶日差しを遮る木陰を生み出す等、快適な都市環境の形成に寄与する「みどり」

みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京（人の関わりの視点）

○生涯を通じて「みどり」と関わることによるWell-beingの実現へ

- ◆子どもから高齢者まで多くの人々が多様な形で「みどり」に関与
 - ▶多様な人々、特に思春期の子どもたちがのびのびと過ごしたいように過ごせる「みどり」の都市東京
 - ▶樹林地の管理や農作業等、多様な主体が「みどり」に関与・参画
 - ▶環境教育の場や機会が充実し、誰もが「みどり」について理解

○みどりの現状を総合的に評価する新たな評価軸

「世界一みどりを実感し、みどりの恵みを享受する都市」の実現に向けて、
新たな指標を策定

⇒みどりの実感や恵みの享受度合いを把握（5年ごとに調査を実施）し、施策に反映

みどりの現状を総合的に評価する指標【OUTCOME】

「みどりの実感」や「恵みの享受」に通じる新たな指標を設定

評価の視点	把握項目	目標値
みどりを実感	1. 視認度（緑視率） 新規	今後検討 (次回案を提示)
みどりの恵みを享受	2. 満足度 新規 (細目例) ① みどりに対する総合的満足度 ② あなたの好きなみどり ③ 景観に対する印象 ④ みどりとのふれあい状況 ⑤ みどりの利用状況 ⑥ みどりに対する感想 ⑦ 印象に残るみどり など	

・ 指標に関係する施策の成果についても把握し、相関等を分析していきます。

第3章

エリア別将来像及びみどりの種別将来像

1. エリア別将来像

○「都市づくりのグランドデザイン」（都市整備局）で設定されている4つの地域区分に沿って、エリア別将来像を設定します。

自然環境共生域

おおむね圏央道の外側
及び島しょ部の区域



中枢広域拠点域

おおむね環状7号線
内側の区域

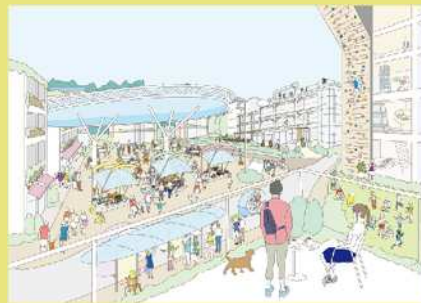


圏央道 武蔵野線

環状7号線

多摩広域拠点域

おおむねJR武蔵野線から
圏央道までの区域



新都市生活創造域

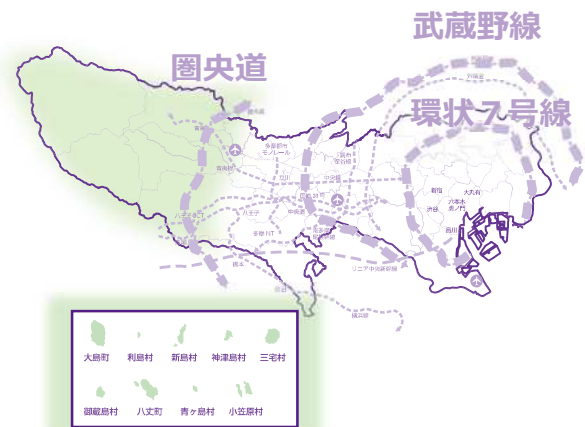
おおむね環状7号線から
西側はJR武蔵野線まで、
東側は都県境までの区域



※隣り合う地域区分の境界域は、相互の地域特性が緩やかに 変化・融合しながら連続性を持つ

エリアの将来像

- ・ 清流や森林、美しい海などの自然環境や温泉、地酒といった地域資源が最大限活用されています。
- ・ 多摩地域では、豊かな自然や多様な地域資源が世界中の注目を集め、観光地、スポーツの場、農業・林業を体験する場として親しまれています。
- ・ 島しょ部では、世界に誇る豊かな自然が確実に保全されているとともに、地場産業等を活用した観光資源が更に育まれるなど、島独自の魅力を発信しています。



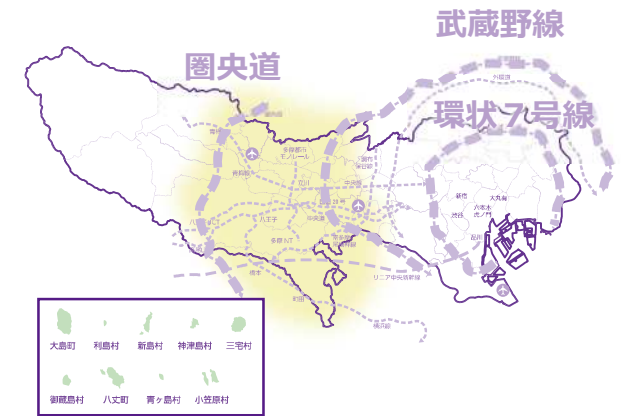
みどりの将来像

魅力と活力のある地域を支える豊かなみどり

3つの目標の視点	<p style="text-align: center;">成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 亜高山帯から亜熱帯まで広がる豊かな自然環境が、周辺の農地や河川、森林等と一体となって保全されています。 ○ 施業を要しなくなった人工林では、在来の広葉樹林等の自然植生が再生しています。 ○ 地域の特徴的な生態系や、多様な生きものの生息・生育環境が保全され、野生動物との適切な共生が進み、健全な森林環境が広がっています。
	<p style="text-align: center;">まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林循環が持続的なものとなり、スギ・ヒノキを主体とした人工林が適切に維持・管理され、CO₂吸収や水源涵養などのグリーンインフラ機能が発揮されています。 ○ まとまった規模の農地が保全され、背景となる山地とつながるみどりが広がる、生活と自然が調和した地域が形成されています。
	<p style="text-align: center;">関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内外から注目を浴びる首都圏の自然豊かなレクリエーション空間・観光スポットとして、利用者が自然と深く触れ合い、その豊かさや恵みを感じることができています。 ○ 西多摩、島しょ部とも、地域によって異なる豊かな自然の個性がより一層際立つよう維持されるとともに、これらの自然環境に根ざした暮らしや産業・文化が継承されています。

エリアの将来像

- ・道路・交通ネットワークの結節点において業務・商業機能が集積した拠点が形成され、リニア中央新幹線や圏央道などのインフラを活用し、他の広域拠点や都市圏との交流が活発に行われています。
- ・駅等を中心とした拠点では、物販や飲食といった日常的な生活サービスに加え、医療・福祉・介護、コミュニティなどの多様な機能が集積し、多摩イノベーション交流ゾーンの活動を暮らしの面から支えています。
- ・拠点の周辺に広がる市街地においては、高齢者や障害者、子育て世代を含め、誰もが安心して快適に暮らせる住環境が整備されています。



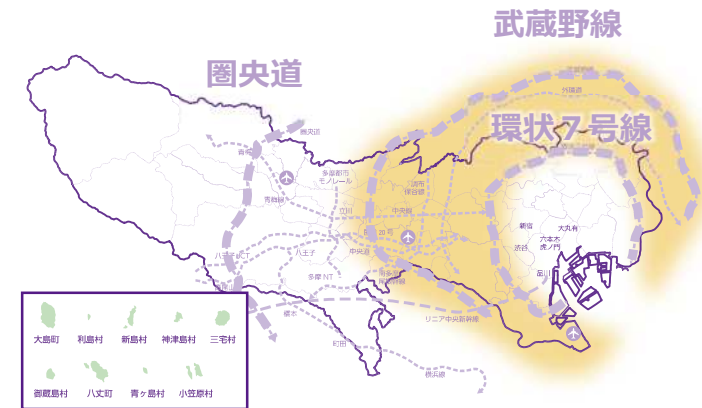
みどりの将来像

- ・里地里山の景観を織りなす、地域の歴史と佇まいを感じさせるみどり
- ・市街地の暮らしと共存し、人々の交流の拠点となる豊かなみどり

3つの目標の視点	<p>成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他県にも連なる巨大なグリーンベルトの一部として里山が保全され、起伏ある丘陵地の雑木林と谷戸、農地が織りなす里山の景観が継承されています。 ○ ある程度のまとまった規模の樹林地や農地が保全され、農業が発展し、みどりを身近に感じることができています。
	<p>まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅地や商業地での開発においては、地形や景観に配慮された開発がなされ、グリーンインフラ機能が確保されるとともに、周辺のみどりを色濃く感じる事ができるなか、良質な新たなみどりも創出されています。
	<p>関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雑木林や谷戸田など里山の景観を活かした公園等の維持・育成に多くの人々が関わっています。 ○ 多様な主体により里地里山の景観や文化が保全され、その魅力が継承されています。 ○ みどりの中で次世代が育ち、地域のみどりを核として多世代が支え合う地域が創出されています。

エリアの将来像

- ・良質で機能的な住環境をベースとしながらも、芸術・文化、教育、産業、商業などの機能が複合的に利用されることで、多様なライフスタイルや新たな価値を生み出す場となり、魅力ある個性を発揮しています。
- ・環状・放射方向の公共交通の充実により、区域内の移動が抜本的に改善され、高齢者や子育て世代、障害者の生活と社会参加を支える高い交通利便性が確保され、新たな交流が生まれています。



みどりの将来像

武蔵野等の歴史的な面影を残す農地や屋敷林、魅力的な大規模公園等
人々の心身を癒やす、厚みとつながりのある身近なみどり
人々の活動や交流の核となるみどり

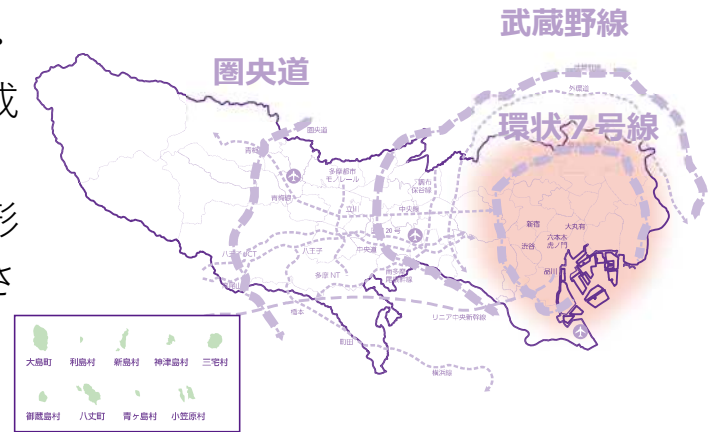
3つの目標の視点	<p>成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧緑地地域※であることの強みを生かし、多摩広域拠点域と共に、広大なグリーンベルトとして、市街地内には、農地や屋敷林等の歴史あるみどり・昔ながらのみどりが至る所に存在し、地域の顔としてみどりを身近に感じることができています。
	<p>まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ グリーンインフラ機能が拡充し、厚みとつながりのあるみどりが充実しています。 ○ ゆとりと潤いのあるみどり豊かな住環境が再生・創出されています。
	<p>関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農地では身近な生産地として、東京の農業や農業文化・歴史を伝えるとともに、体験農園等、農業者以外の多くの人々が農に親しむことができます。 ○ 市街地にみどりがあふれ、スポーツや環境学習等のみどりを核とした活動を通じ、子どもから高齢者まで幅広い世代の人々が、自然を身近に感じながら交流することができます。 ○ 歴史ある屋敷林や農地が、地域住民の誇りとコミュニティを育む地域の居場所として日々の暮らしに溶け込み、身近なみどりや公園が、子どもたちが伸び伸びと遊べる育ちの庭となっています。

※戦前に提起されたグリーンベルトを原点として、戦後特別都市計画法に基づき決定された郊外部の環状緑地帯。強い建築規制により市街化の抑制を期待。³⁴

エリアの将来像

・ 高密な道路・交通ネットワークを生かして、国際的なビジネス・交流機能や業務・商業などの複合機能を有する中核的な拠点が形成され、グローバルな交流によって新たな価値を生み続けています。

・ 芸術・文化、スポーツなどの多様な特色を有する拠点が数多く形成されるとともに、歴史的資源や風情のある街並みが保全・活用され、それぞれが際立った個性を発揮し、相互に刺激し合うことで、東京の魅力を相乗的に向上させています。



みどりの将来像

- ・ 首都・東京の玄関口を彩り、活力ある魅力的なみどり
- ・ 歴史と文化を継承し、東京の魅力を伝えるみどり
- ・ まちなかのあらゆるところで目に入る美しいみどり

3つの目標の視点	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財庭園等の歴史や文化を継承するみどりが東京の持つ資産として適切に保全され、国内外の人にとって魅力的なみどりあふれる首都となっています。 ○ 海辺や水辺のみどりが、内外に誇れる自然再生の成果として注目をあびています。
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続的に保全・創出される緑や水辺空間によりグリーンインフラ機能が拡充し、みどり豊かで潤いのある複合市街地が形成されています。 ○ 質の高いみどりや立体的なみどりが創出され、高密度な都市部においても、まちなかにおいて、駅前や屋内空間等、あらゆる場所でみどりを身近に感じることができます。
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪れる人々に安らぎと憩いを与える東京の玄関口にふさわしいみどりが広がっています。 ○ 多様な人々が憩い、交流する貴重な空間として、多様なみどりにあふれています。 ○ 民間事業者等と連携し、働く人にも訪れる人にも快適な、みどりに調和した親しみやすく居心地のよい空間が形成されています。

2 みどりの種別将来像

2.1 公園（都市公園等）

将来像

豊かな緑を有し、地域のみどり・賑わいや魅力の核として、
緑の多面的機能をくまなく発揮し、都民のWell-beingに貢献しています。

3つの目標の視点

成り立ち

多様なみどり溢れる都市・東京

- 丘陵地や平地、臨海部、河川緑地等、立地特性やその立地に応じた自然環境を十分に感じられています
- 文化財庭園やオリンピックレガシーであるスポーツ拠点等は、その歴史等成り立ちの背景を十分に伝えています
- 生物多様性保全、防災・減災といった多様な機能を発揮しています
- 都市における生物多様性保全の拠点として、保全と利用とのバランスが取れています

まちづくり

魅力的なみどり溢れる都市・東京

- 利用に適した安全な樹林が確保され、快適な緑陰、新緑や紅葉、季節の花など、四季折々の美しさを感じながらみどりの存在価値を実感できています
- 国内外の人々を惹きつけるまちの賑わいや魅力の拠点として機能しています

関わり

みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京

- 憩いの場として、訪れる誰もが、他の利用者にも配慮しながら、自由に伸び伸びとスポーツや静かな休息を楽しむ等、利用目的に応じて過ごせるみどりが溢れています
- 思春期年代を含む子どもたちが楽しく元気に外遊びができ、多世代の利用者・近隣住民が関わりながら共につくる場となっています
- 環境学習やボランティア活動など、自然とのふれあいや人々との交流を進められる空間となっています




資料：建設局「パークマネジメントマスタープラン」

2.2 街路樹

将来像

緑の拠点を結ぶグリーンロード・ネットワークが充実し、安全で快適な歩行空間と美しい都市景観が調和したみどり空間が広がっています。

3つの目標の視点	成り立ち 多様なみどり溢れる都市・東京	<ul style="list-style-type: none">○ 緑の拠点が街路樹でつながり、都市のエコロジカル・ネットワーク形成に寄与しています
	まちづくり 魅力的なみどり溢れる都市・東京	<ul style="list-style-type: none">○ 沿道等の状況を踏まえつつ、街路樹の樹冠拡大が推進され、緑陰が確保された歩行者空間が形成されています○ 延焼防止機能や植物の蒸散機能などによる暑さ対策に貢献するグリーンインフラ機能を発揮し、安全で快適な歩行空間に貢献しています○ 緑豊かで美しく、風格ある都市景観の創出に貢献しています○ 街路樹と道路、周辺のまちづくりが一体となって魅力ある空間を創出しています 
	関わり みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京	<ul style="list-style-type: none">○ 街路樹のみどりを中心とした快適な空間で、オープンカフェやイベント等が開催され、人々が様々な形で関わりながら憩う場となっています○ 街路樹のみどりの中を歩くこと自体が心身の健康づくりにつながるような、あらゆる世代にとって安全で快適なグリーンインフラとして機能しています

街路樹による緑陰の確保
資料：政策企画局
「東京都の緑の取組 Ver.3」

2.3.1 まちなかのみどり（公開空地等大規模開発に伴うみどり）

将来像

あらゆるところで緑化が推進され、

みどりの多面的機能を存分に発揮する上質なみどり空間が整備されています。

3つの目標の視点

成り立ち

多様なみどり溢れる都市・東京

- 生態系に配慮して創出された緑地や水辺が市街地全体に広がる生物多様性の質の向上に貢献しています

まちづくり

魅力的なみどり溢れる都市・東京

- 新たに創出される緑地が、丘陵地や河川・崖線などの自然地形や公園・緑地などと一体となり、景観の向上、グリーンインフラ機能を十分に発揮し、厚みとつながりをもっています
- 地上部から視認しやすい場所での緑化が広がり、あらゆるところでみどりを実感できています
- 緑豊かで魅力的な道路空間の創出と一体となって広がる良好な街並み景観を織りなしています
- あらゆる場所に緑が存在し、東京の魅力や活力を感じることができています



資料：都市整備局「公開空地等のみどりづくり指針」



資料：都市整備局「緑の取組事例」

関わり




みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京

- 新たに創出された緑地や水辺が、地域に愛されるみどりとなっています
- 都市開発によって生まれたみどりが、人々の心身を癒やす都市のオアシスとして機能し、幅広い世代が集える場となっています

2.3.2 まちなかのみどり（宅地等小規模なみどり）

将来像

日々の暮らしの中の都民の主体的な緑化等活動を通じて地域全体で四季を感じる心地よさが広がっています。

3つの目標の視点	<p style="text-align: center;">成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生態系に配慮して創出・保全されることにより、市街地全体に広がる生物多様性の質の向上に貢献しています ○ 生きものに配慮した点在したみどりの密度が高まることで、都市空間全体で生物多様性の向上が図られるとともに、エコロジカル・ネットワークの形成に寄与しています
	<p style="text-align: center;">まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園・緑地のほか、空き家等の低未利用な民間の遊休地、農地、企業緑地、個人宅の庭・ベランダ、校庭などの公共用地以外の多様な場所においてみどりが保全・創出され、日常的に触れあえるみどりが充実しています
	<p style="text-align: center;">関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な社寺林や学校のみどり等が保全・継承され、人々の暮らしに溶け込み親しまれ、子どもをはじめ多くの世代にとってあたたかいコミュニティ形成の場となり、地域のシンボルとなっています <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>社寺林</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学校のみどり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>住宅地のみどり</p> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">資料：東京くらしねっと TOKYO景観探訪（鬼子母神堂） まちで生きる樹木を守る 足立区 大田区ホームページ：田園調布特別出張所管内のまちの緑</p>

2.3.3 まちなかのみどり（その他まちなかのみどり）

将来像

あらゆる場所で緑化が推進され、日常的にみどりの多さを実感し、みどりの恩恵を体感できるようになっています。

3つの目標の視点

成り立ち

多様なみどり溢れる都市・東京

- 生きものに配慮した点在したみどりの密度が高まることで、都市空間全体で生物多様性の向上が図られるとともに、**エコロジカル・ネットワークの形成に貢献しています**

まちづくり

魅力的なみどり溢れる都市・東京

- これまで緑化されてこなかった駅周辺空間（鉄道施設の屋内空間や公園等につながる通路等）や、道路、広場、屋内空間などが緑あふれ、人が憩い、楽しく歩くことができる都市空間へと再編され、グリーンインフラ機能を発揮するとともに、街全体に広がる**ゆとりと潤いのある空間**となっています
- 視認しやすい建築物の屋上・壁面、ベランダなどにおける立体的なみどりの創出が進み、人々が身近に自然を感じ、街全体に**居心地が良いと感じられるみどり**があふれています
- 地上部では緑陰を創出する木々や四季折々に変化を魅せる植物などが広がる**季節感あるみどり**が増えています

4号街路トンネル部の緑化

資料：駅周辺空間の緑化を行います～まちなかのモリ事業～
|民間活力をいかした公園づくり|東京都都市整備局



関わり


みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京

- 日常の多様な場面で目に触れるみどりが増えるとともに、多様な主体がみどりの創出・保全に関わり、**みどりを育て、みどりに育まれる循環**を実感できる都市環境が実現しています
- みどりの手入れ等の活動を通じ、子どもたちが多様な生命への親しみを抱き、**感受性を育む機会**が創出されています

2.4 歴史的なみどり（屋敷林、社寺林、庭園等）

将来像



地域ごとの生活や風土を感じさせる風景・景観が保全され、歴史・文化を継承するみどりが広がっています。

3つの目標の視点	<p style="text-align: center;">(成り立ち)</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代の新田開発に伴って育まれた青梅街道、五日市街道などの街道沿いの屋敷林など、武蔵野らしさ、地域らしさを感じられるものとして保全、継承されています ○ 身近に存在する社寺林のみどりが地域の特色や歴史を感じさせています
	<p style="text-align: center;">(まちづくり)</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江戸時代から続く大名庭園を起源とする歴史的な庭園や名園などが東京の歴史・文化を継承し、東京が誇る魅力を発信し、都市のプレゼンス向上に寄与しています ○ 代々受け継がれた個人宅の屋敷林が、地域の伝統や文化を伝え、特別緑地保全地区の指定等により積極的に保全・活用される都市の貴重なみどりとなっています <div style="text-align: center;">  <p>下保谷四丁目特別緑地保全地区（西東京市） 資料：政策企画局「東京都の緑の取組 Ver.3」</p> </div>
	<p style="text-align: center;">(関わり)</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 崖線周辺等、有史以前の文化を伝える遺構とそのバックボーンである自然環境が訪れる人に歴史を伝えています ○ 数百年を生きる樹木や庭園を通じ、子どもをはじめ多くの人々が「命のつながり」や「歴史とのつながり」を肌で学ぶ機会を創出しています

2.5 臨海部のみどり（海上公園等）



将来像

にぎわいと自然があふれる新たなまちや海辺が広がっています。

3つの目標の視点	<p style="text-align: center;">(成り立ち)</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 干潟や砂浜、磯浜が拡充し、多様な生きものの生息空間となっています ○ 生物の移動経路としての機能が充実し、船上や対岸から眺めを楽しむことができる「水の都・東京」にふさわしい景観が広がっています <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">海に親しめる空間（お台場海浜公園） 干潟に飛来する渡り鳥（葛西海浜公園） 資料：港湾局「海上公園ビジョン」</p>
	<p style="text-align: center;">(まちづくり)</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民有地等の連携により、運河や港等の水辺沿いに連続した親水空間が広がっています ○ 海に面しつながる歩道や広場が広がり、海と触れあうことができるみどりが充実しています ○ 複合市街地では、グリーンインフラ機能を発揮する魅力ある都市空間の形成に寄与しています
	<p style="text-align: center;">(関わり)</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の保全と利用とのバランスが取れ、豊かな水辺の環境を形成しています ○ 世界を魅了するまちを構成する広大な空間や水辺を生かし、賑わいと一体となった内外から注目を浴びる魅力的なみどりが充実しています ○ 安全・快適に水辺の環境学習や水に触れる遊び、海風を感じながらの身体活動（スポーツ・散策）が楽しめる連続した水辺空間となっています ○ 観察会やボランティア活動等により、子どもをはじめ多くの人々が臨海部の自然環境について学び育てることができています

将来像

「東京農業」が継承され、農のある風景の保全・育成が進むとともに、都民が農に親しむ機会が拡充されています。

3つの目標の視点	<p>成り立ち</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺の樹林地などの緑と一体となった美しい景観を創出しています ○ 区部周辺部では屋敷林と一体となった農地が、多摩中央部では短冊状のまとまりのある農地があるなど、市街化区域内においても昔から残る住宅地の身近なみどりとなり、地域の景観を特徴づけています 	 <p>都内に残る短冊状農地 出典：©Google 「Google Earth 2023年」</p>
	<p>まちづくり</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大都市の中に農地が点在する世界的にも希少な「東京農業」が、東京の多様なポテンシャルを活かして、広域的な魅力・経済価値を生む存在として都民生活に貢献し、持続可能な農業として展開されています ○ 季節や自然の恵みを実感できる潤いのある風景を形成しています 	
	<p>関わり</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元食材を供給し、地産地消に貢献するとともに、都民が市民農園や環境学習の場としても活用されています ○ 水田等の農地では多様な生きものが生育・生息し、観察することができます ○ 都市の中で都民が農に親しめる農地が存在しています ○ 災害時には避難場所ともなる貴重なオープンスペースとして多面的な機能を十分に発揮し、人々に活用されています ○ 農地が、子どもをはじめ多くの人々にとって「食といのちのつながり」を学ぶ生きた教室となっています 	 <p>荻窪一丁目・成田西二・三丁目 農の風景育成地区（杉並区） 資料：都市整備局 「東京の緑」HP</p>

2.7 里地里山のみどり（谷戸、雑木林）

将来像

地域らしい景観と豊かな生態系を育み、里山文化と豊かな生態系を次世代に渡って継承していく場が恒久的に担保されています。

成り立ち

多様なみどり溢れる都市・東京

- 美しい景観や歴史・文化、豊かな生態系が保全・継承されている谷戸、雑木林が広がり、里地里山の景観を特徴づけています

まちづくり

魅力的なみどり溢れる都市・東京

- 谷戸や雑木林を骨格としたグリーンインフラ機能が拡充し、安全で快適な暮らしを支えるみどりとなっています



横沢入里山保全地域
写真：環境局提供



クヌギ・コナラを主体とした雑木林
資料：産業労働局「東京の木・森のしごと」

関わり

みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京

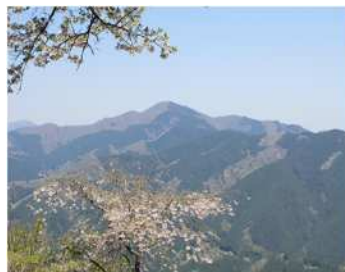
- 地元食材を供給し地産地消に貢献するとともに、環境学習の場としても活用される農地が保全され、都民が手軽に農に親しむことができるみどりが充実しています
- 谷戸では農作業体験ができ、地域の歴史や文化を子どもも体験しながら楽しむことができるみどりとなっています
- 多くのボランティアが精力的に活動し、多様な生きものが共存できる環境となり、里地里山としての景観や文化が保全されています
- 散策や観察会等により里地里山の魅力が継承されています
- 農体験や里山活動を通じて、子どもたちが「人は自然の恵みによって生かされている」ことを実感できる原体験の場となっています

3つの目標の視点

将来像

多様な地形と生態系を基盤とし、生きものを育む環境を保全するとともに、人と自然が深く関わり、共生する環境が広がっています。

3つの目標の視点	<p>成り立ち</p>	<p>多様なみどり溢れる都市・東京</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広葉樹や針広混交林の割合が拡大し、山地における植物等の多様性が豊かになっています ○ 島しょの自然の価値が認識され、固有の生態系及び多様な自然環境が多様な主体の協力により保全・再生されています ○ 文化や歴史と結びつきのある各島や集落固有の自然環境が継承されています
	<p>まちづくり</p>	<p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水源涵養能力やCO2吸収により、人々の暮らしを守り、地球温暖化対策等に貢献しています
	<p>関わり</p>	<p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然環境や魅力的で多様な景観・眺望等を堪能できるエコツーリズム、森林セラピー等により、自然の適正な利用が広がっています ○ 安全・安心・快適な利用環境の確保により、子どもから高齢者まで年代を問わず、内外の多くの人々が訪れやすい観光資源として活用されています ○ 森林の手入れが行き届き、多摩産材の生産が盛んとなっています



資料：環境局「東京の自然公園」



資料：神津島村HP



資料：環境局提供
(小笠原諸島 南島)

2.9 崖線・河川・上水・用水・水路等

将来像

行政区域を越えて連続するみどりのネットワークの軸として、多様性に富んだ自然環境の形成や水辺空間の賑わい創出などにより、都市に潤いを与えています。

3つの目標の視点	<p style="text-align: center;">(成り立ち)</p> <p>多様なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連続した崖線の緑が遠くから見え、崖線からは遠くまで眺望でき、東京の緑を特徴づける景観を形成しています ○ 河川や上水では清流が復活し、蛍が戻ってくる場所もあるなど、江戸の昔ながらの風景が再生しています ○ 崖線、河川、上水、用水、水路などでつながることでエコロジカル・ネットワークが回復しています ○ 緑の連続性を認識できる崖線などの軸となるみどりが確保されています
	<p style="text-align: center;">(まちづくり)</p> <p>魅力的なみどり溢れる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 崖線などでは在来種など地域に相応しいみどりが広がっています ○ まちづくりと一体となり、歩きたくなる居心地よい水辺空間が広がっています
	<p style="text-align: center;">(関わり)</p> <p>みどりを育て、みどりによって育てられる都市・東京</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河川やお濠では水質改善が進み、水辺空間の賑わい創出などにより、賑わい豊かな水辺空間でイベントや環境学習等が楽しめています ○ 湧水の保護・回復が進み、地域を活性化させる自然資源として評価されています ○ 子どもたちが水辺で自由に遊び、散歩やジョギング、読書など、日常の静かな営みが水辺に溶け込んでいます



多摩川由来の崖線 資料：都市整備局「崖線の緑を保全するためのガイドライン」

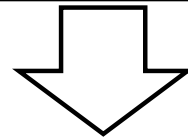
第4章

今後について

■ 今後の進め方

- 中間のまとめ公表後、皆様からの御意見等を踏まえ、東京都「緑の広域計画（仮称）」を策定いたします。

「東京都「緑の広域計画（仮称）」 中間のまとめ」 公表



中間のまとめのブラッシュアップ

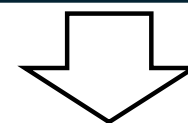
皆様からの御意見を踏まえ、検討した上で、中間のまとめの内容をブラッシュアップしていきます。

具体的な取組・目標の検討

皆様からの御意見を踏まえ、検討した上で、具体的な取組・目標をエリア別・種別に設定します。

新たな重点プロジェクトの検討

皆様からの御意見を踏まえ、検討した上で、新たな重点施策の詳細を検討します。



東京都「緑の広域計画（仮称）」 策定

都民の皆様
の御意見

■ 検討体制

- 「緑の広域計画（仮称）」の策定にあたっては、庁内関係部署で構成する庁内検討会、都内全自治体で構成する区市町村連絡会及び学識経験者で構成する有識者検討委員会を設置し、検討を進めています。

庁内検討会

都市整備局
政策企画局
財務局
環境局
産業労働局
建設局
港湾局
(オブザーバー)
国土交通省

区市町村連絡会

都内全区市町村
23区26市5町8村

有識者検討委員会

以下10分野の有識者から構成

- ①環境・造園
- ②都市づくり
- ③経済
- ④都民協働
- ⑤都市農地
- ⑥観光
- ⑦健康
- ⑧DX
- ⑨子ども
- ⑩海外